植樹申込サイト http://jog-ja.center-f.jp/

YAYASAN ROYAL SILK
Royal Silk Foundation

ロイヤル シルク 財団

www.jog-ja.com

ー守り育て生活をする森をつくるー

「ジャワ鎮守の森：植樹村落開発」

インドネシア共和国の古都ジョグジャカルタ南部に、王家歴代スルタンが眠るイモギリ丘陵地帯があります。陵墓周辺は手付かずの自然が残された一方、連なる丘陵地帯は山肌があらわになる程荒廃が進み、自然災害を引き起こす危険にさらされています。

そこで、私達は植樹による環境保全と農業従事者の生計向上を両立させる持続的な社会の構築のため、野生の蚕の産業「野蚕開発事業」を取り入れた「ジャワ鎮守の森：植樹村落開発」運動を始めました。

この地に再移住住民を受け入れ、これから夢を抱き帰還する人々と共に木を植え育てることで、「クリキュラ」と「アタカス」の野蚕が生息出来る環境、熱帯の果実や花々に囲まれた多様な植生のジャワ本来の森を創出し、両王家の陵墓と共に「ジャワ鎮守の森」を作りだすことを目的としています。

地域住民が主体となる20年・30年後を見据えた「 ジャワ鎮守の森」作りはいまだ始まったばかりです。多くの方々にこの趣旨をご理解いただき、ご協力いただけることを心から願っています。

同じ地球上に緑を取り戻し。胸いっぱいに爽やかな空気を満たせる“世界”に向けて。

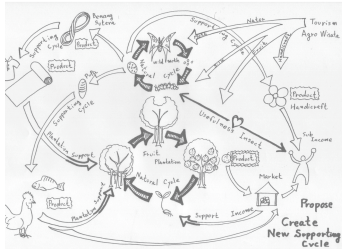
植樹支援に協力してくださる方を募集しております。

【植樹における野蚕開発の優位性】

クリキュラの幼虫に葉の一部を食べられた果樹は子孫を残そうとするためか、より多い果実（種子）を成らすことが知られています。農民は果実と共に野生の繭から収入を得ることが出来るため、積極的に苗木を育て森を保護し繭の工芸品を作ります。



【植樹地遠景と再移住住宅】



【野蚕開発のコンセプト】

100世帯500人の再移住地と植樹地の一部



【苗木の配布】



【農民による苗木の搬送】

地域住民主体の植樹運営管理



【植樹の状況】



【繭を集め選別する村民】

苗木と繭を育て、生態と環境を保全育成する村民

【植樹村落開発事業活動と協力体制】

計画地では道路整備と水の供給を州と郡政府が実施し、植樹技術を林業局と社会福祉局が支援、養蚕研究を地元の大学と日本・インドネシア両国の野蚕学会が協力し実施しています。財団では苗木の支援と共に環境教育を兼ね、ガゼボやゴミ箱の整備を行なっています。





【州知事による現地視察】【住民・産・官・学・財団による協議】

より良い環境と地域社会を目指した共同事業





【植樹計画地の丘に建設されたガゼボと眺望】

農畜林地場産業と環境保全を両立させる実践の場





【日本からの植樹支援ツアーと植樹活動】

地域住民との交流と緑化による自己啓発の場

植樹申込サイト
http://jog-ja.center-f.jp/

植樹申込サイト
http://jog-ja.center-f.jp/